ヨド物置 エルモ
組立説明書 LMC-1511型・1515型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

設置場所の制限

⚠注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- 崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。
※この組立説明書は「1515」の組立手順を基本に説明しております。

組立施工の際には

⚠注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- 高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

〈施工にあたって〉

1. まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2. 基礎ブロックは市販のコンクリートブロックを御使用ください。
   ブロックの大きさは巾19cm×長さ19cm×厚さ10cmのものが適当です。
3. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
4. 部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。（安全のため必ず手袋を着用してください。）
5. 部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
6. 部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表

機種＼梱包	部品	前後材	左右材	柱	床	屋根	壁	壁	鼻隠し・補強	扉	棚板	計
1511型	LM4-0122	LM4-0202	LM3-0302	LM3-0407	6-072	LM3-0923	LM3-1014	LM3-1022	LM3-1122	LM4-1702	LM3-1903	11
1515型	LM4-0122	LM4-0202	LM3-0303	LM3-0407	6-074	LM3-0924	LM3-1012	LM3-1014	LM3-1122	LM4-1702	LM3-1903	11

梱包内容表

●部品

LM4-0122（1511・1515） 部材名	数量
ELC AS下枠接続金具 前 右	1
ELC AS下枠接続金具 前 左	1
接続金具後	2
ELC棚受 N 右	3
ELC棚受 N 左	3
ELC床押え取付金具	3
ELC下レール取付金具	6
間柱金具⑤	2
屋根止結金具	9(1)
ELC間柱固定金具	2
ボルト(スプリングワッシャー付)M6×15	5(1)
工具キット04	1
ELC連動車	1
ELC戸当り孔フサギ	1
EL鍵孔フサギ	1
戸滑り右(小ネジM4×10 1本付)	1
壁パネル止結金具	40(1)
ELC柱補強金具	1
戸車上昇防止プレートAS	3
ELC扉支持金具	1
小ネジM4×10	3(1)
打込みアンカー(L=324)	4
アンカープレートL	4
ELC取手	1
ボルトM6×15(白)	141(5)
フランジナットM6	6(1)
組立説明書	1
取扱説明書	1
組立チェックシート	1
保証書(二年)	1
機種名ラベル	1
ソフトテープL=1500	2

●前後材

LM4-0202（1511・1515） 部材名	数量
ELC下枠前 AS-A2.0	1
下枠 A2 (94)	1
ELC上枠前 AS-A2.0	1
ELC上枠後 A2.0	1
ELC床押え後 A2.0	1
ELC下レール AS-A2.0	1
ELC扉後隙間隠し AS-G	1
ELC扉支持材 AS-G	1

●左右材

LM3-0302（1511） 部材名	数量
ELC下枠側 A1.5右,左	左右各1
ELC上枠左 A1.5	1
ELC上枠右 A1.5	1
ELC間柱 側中 1.5L	2

LM3-0303（1515） 部材名	数量
下枠側 A2 (94)	2
ELC上枠左 A2.0	1
ELC上枠右 A2.0	1
ELC間柱 側中 2.0・4.0L	2

●柱

LM3-0407（1511・1515） 部材名	数量
ELC柱前 AS-右L	1
ELC柱前 AS-左L	1
ELC柱後L	2
ELC間柱前L	1
ELC間柱後L	1
ELC戸当り(M)L	1

●床

6-072（1511） 部材名	数量
床板・B2	4

6-074（1515） 部材名	数量
床板・A2	4

●屋根

LM3-0923（1511） 部材名	数量
ELC屋根板 大 A1.5	1
ELC屋根板 小 A1.5	3

LM3-0924（1515） 部材名	数量
ELC屋根板 大 A2.0	1
ELC屋根板 小 A2.0	3

●壁

LM3-1012（1515） 部材名	数量
ELC壁・L-A	2

LM3-1014（1511・1515） 部材名	数量
ELC壁・L-A	4

LM3-1022（1511） 部材名	数量
ELC壁・L-F	2

●鼻隠し・補強

LM3-1122（1511・1515） 部材名	数量
ELC鼻隠し前 A2.0	1
ELC鼻隠し後 A2.0	1
ELC換気栓	2
ELCはりBCF A2.0(S)	1
床補強 A2.0	1

●扉

LM4-1702（1511・1515） 部材名	数量
ELC扉前 L-G	1
ELC扉後 L-G	1
ELC袖壁 L-G	1
ELC戸当たり(T)L	1
EL戸車プレートAS-G(左)	1
EL戸車プレートAS-G(右)	1
扉施工説明書	1

●棚

LM3-1903（1511・1515） 部材名	数量
ELC棚板 A2.0N	2

○部材名称にはA1.5, A2.0等の記号がついた部材がありますが、これらは部材の長さの記号であり説明書文中では省略しております。
○数量の（ ）内は予備数量

アンカー工事は設置場所によって図のような方法があります。
強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

打ち込みアンカーをアンカープレートLの孔に通し、周囲にタテ、ヨコ各々30cm、深さ40cmの穴を掘り、コンクリートを打ち込んで固定します。（4ヶ所）
打ち込みアンカーの頭は、物置本体に向けてください。
※コンクリートは市販品を用意してください。
※高さ15cm以上のブロックを使用する場合は、アンカープレートLまで根巻きを行ってください。

※オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー（M12-70以上で）で固定してください。

※アンカープレートLを上図の位置で切断・補修して取り付けます。
市販のアンカーボルトで固定してください。

⚠注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

使用ビス一覧
ボルト M6×15 / ナット M6 / ボルト（スプリングワッシャー付）M6×15 / 小ネジ M4×10

1 基礎寸法について

①基礎ブロックを図の寸法に並べます。【基礎寸法図】
（数字はmm）
◎物置本体と基礎ブロックの関係は、図の通りです。
◎前後の屋根の出寸法は左の姿図を参照してください。
左右は本体から47mm出ます。

【基礎寸法図】

2 下枠の組立

①基礎ブロックの上に図のように部材を並べます。
②**接続金具・後**に**下枠・側右、左**および**下枠・後**を差込み、ボルト止めします。（1515型の下枠側は左右共通です）
③**AS下枠接続金具・前右**に**下枠前・AS**および**下枠・側（右）**を差込み、ボルト止めします。左側も同様にして組立てます。

注意 水準器を使って基礎の水平を出してください。
基礎の水平が出ていないと扉がスムーズに開閉しない場合や、鍵がかかりにくくなる場合があります

※1. 1515型の下枠側は左右共通です。

※2. アンカー工事が内アンカー方式の場合は、**アンカープレートL**を**下枠・側右、左**に下枠接続金具と一緒にボルト止めします。
床板を並べる前に取付けてください。

ボルト 8本

3 柱の組立

柱前・AS右、左の下端を下枠の切り欠き孔に差し込みボルト止めします。
外アンカー方式の場合、同時にアンカープレートLを下枠・側右、左に下枠接続金具と一緒にボルト止めします。柱・後も同様に差し込みボルト止めします。

ボルト 8本

4 上枠の組立

①**ソフトテープ**を**上枠前・AS**および**上枠・後**に貼付けます。

注意 ソフトテープを貼る位置は、機種により異なりますので間違わないようにしてください。
ソフトテープはしっかりと貼付けてください。

②**上枠前・AS**を**柱前・AS右、左**のツメにかぶせて、ボルト止めします。
上枠・後のツメを柱・後に引っかけ、ボルト・ナットで止めます。
③**上枠・右、上枠・左**も同様に取付けます。

注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

ボルト 16本、ナット 2コ

5 床板の組立

①**床補強**を**下枠・側右、左**の切込みに落し込みます。

②**床板**を一方の端（どちらからでもかまいません）から順に並べます。
重ね部分を図のようにミゾにはめ込み並べます。

6 下レール・床押え後の組立

下レールASと**床押え後**を取付けます。**下レールAS**は**床板**と**下枠前・AS**の上に載せ、庫内側のみ**下レール取付金具**でボルト止めします。
床押え後は**床押え取付金具**を下枠に取付け、床押え後を金具にかぶせボルト止めします。

注意 下レールは前側へ押しながら室内側のみボルト止めします。下レールの正面側はすべてここでは固定しません。工程⑩で固定します。正面側を先に固定すると、扉の開閉が重くなる恐れがあります。

ボルト 10本

7 間柱後の組立

①**間柱・後**の上端を**上枠・後**に、差し込みます。
②下端を**下枠・後**に差し込んで上下共ボルト止めします。

ボルト 2本

8 間柱側の組立

①**間柱・側中**の上端を**上枠・左（右）**に、差し込みます。
②下端を**下枠・側左（右）**に差し込みボルト止めします。
③上端に**間柱金具⑤**をはめこみ、中央の孔で内側からボルト止めします。

ボルト 4本

9 はりの組立

はりを両側の**間柱・側中**の上にのせてボルトで止めます。

はり断面図

ボルト 4本

10 間柱前の組立

注意 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。
それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書⑩、⑯〜㉑を読んでください。（ ）内のボルトはボルト（スプリングワッシャー付）を使用してください。

●左側開口の場合

①**上枠前・AS、下レール・AS**（工程⑥で固定しなかった箇所）に**間柱固定金具**と**下レール取付金具**をボルト止めします。

②**間柱前**の上側を先に入れ、次に下側を入れて両端をボルト止めします。

ボルト 2本
ボルト（スプリングワッシャー付）4本

●右側開口の場合

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(1511・1515)
ヨドコウ 淀川製鋼
（2008.2月制作）

ヨド物置 エルモコンビ

組立説明書〈オープン部〉サイズ 1515(H)・1815(H)・2215(H)用

「エルモコンビ」は、この組立説明書と「エルモ」組立説明書を参照して組立ててください。
※〈物置部〉は間口寸法1862mmの機種で説明しています。

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

設置場所の制限 ⚠注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- 崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には ⚠注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- 重量物・長尺物は運搬・据付の際に複数人数で行い、振り回したり落としたりしないよう注意してください。
- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- 高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。
- 工事完了後は、必ず切粉を取り除いてください。

〈施工にあたって〉

1.まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2.本体寸法を参考にし、組立てに支障のない程度のスペースを確保してください。
3.部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
4.部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。(安全のため必ず手袋を着用してください。)
5.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
6.部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表

機種	部品	前後材	左右材	鼻隠し	柱	補強 一般地	補強 積雪地	屋根	壁	腰壁	計
1515(H)	LM3-K010	LM3-K020	LM3-K030 (LM3-K035)	LM3-K110	LM3-K040 (LM3-K045)	LM3-K050	LM3-K055	LO3-0924	LM3-1012 (LM3-1062)	LM3-K102	10
1815(H)	LM3-K014	LM3-K021	LM3-K030 (LM3-K035)	LM3-K111	LM3-K040 (LM3-K045)	LM3-K060	LM3-K065	LO3-0916	LM3-1012 (LM3-1062)	LM3-K102 LM3-K106	11
2215(H)	LM3-K014	LM3-K022	LM3-K030 (LM3-K035)	LM3-K112	LM3-K040 (LM3-K045)	LM3-K070	LM3-K075	LO3-0996	LM3-1012 (LM3-1062)	LM3-K103	10

※Hタイプの場合、左右材、柱、壁の梱包番号は(　)内の番号になります。

梱包内容表

●部品

部材名	LM3-K010 数量	LM3-K014 数量
接続金具　後	1	1
OPS下枠接続金具前外	1	1
OPS下枠接続金具前内　左	1	1
OPS下枠接続金具前内　右	1	1
OPS下枠接続金具後	1	1
OP上枠中支持金具(96)	2	2
OPS下枠すき間隠し　左	1	1
OPS下枠すき間隠し　右	1	1
間柱金具⑤	1	1
間柱金具⑦	1	1
ボルト　M6×18	5	5
フランジナット　M6×13	3	3
はり用ボルト　M6×12	5	5
OPS胴縁取付金具	2	2
OPS上枠中孔フサギシール	1	1
OPS鼻隠し前接続金具	1	1
OPS鼻隠し前接続プレート	1	1
OPS鼻隠し前固定金具A	1	1
OPS鼻隠し後接続金具	2	2
OPS鼻隠し前連結化粧	1	1
ボルト　M6×15	114	130
フランジナット　M6×16	26	27
セルフドリルビス　4φ×13	8	9
屋根止結金具	9	14
壁パネル止結金具	25	31
アンカープレートL	2	2
打込みアンカー	2	2
組立説明書	1	1
取扱説明書	1	1
保証書	1	1
ソフトテープ　L=1500	2	-
ソフトテープ　L=2200	-	2
コンビ機種名ラベル	一式	一式

※部材名称にはA2.0等の記号がついた部材がありますが、これらは部材の長さの記号であり、説明書文中では省略しております。
※部材名称のOPSはオープンスペースの略号です。

●前後材

LM3-K020 部材名	数量
OPS下枠後　A2.0	1
OPS上枠前　A2.0	1
OPS上枠後　A2.0	1
OPS胴縁A　A2.0	1
OPS胴縁B　A2.0	1
OPS間柱後	1

LM3-K021 部材名	数量
OPS下枠後　A2.5	1
OPS上枠前　A2.5	1
OPS上枠後　A2.5	1
OPS胴縁A　A2.5	1
OPS胴縁B　A2.5	1
OPS間柱後	2

LM3-K022 部材名	数量
OPS下枠後　A3.0	1
OPS上枠前　A3.0	1
OPS上枠後　A3.0	1
OPS胴縁A　A3.0	1
OPS胴縁B　A3.0	1
OPS間柱後	2

●左右材

LM3-K030 部材名	数量
OPS下枠側　A2.0	1
OPS上枠中　左　A2.0	1
OPS上枠中　右　A2.0	1
LLC間仕切り間柱　中2.0L	1
OPS屋根止結材　A2.0	1

LM3-K035 部材名	数量
OPS下枠側　A2.0	1
OPS上枠中　左　A2.0	1
OPS上枠中　右　A2.0	1
OPS間仕切り間柱　中2.0H,4.0H	1
OPS屋根止結材　A2.0	1

●鼻隠し

LM3-K110 部材名	数量
OPS鼻隠し前　A2.0	1
OPS鼻隠し後　外A2.0	1
OPS鼻隠し後　内	1

LM3-K111 部材名	数量
OPS鼻隠し前　A2.5	1
OPS鼻隠し後　外A2.5	1
OPS鼻隠し後　内	1

LM3-K112 部材名	数量
OPS鼻隠し前　A3.0	1
OPS鼻隠し後　外A3.0	1
OPS鼻隠し後　内	1

●壁

LM3-1012 部材名	数量
ELC壁　L-A	2

LM3-1062 部材名	数量
ELC壁　H-A	2

●柱

LM3-K040 部材名	数量
OPS柱　前左L	1
OPS柱　前右L	1
OPS柱　後左L	1
OPS柱　後右L	1
OPS柱スペーサーAL	1
OPS柱スペーサーBL	1

LM3-K045 部材名	数量
OPS柱　前左H	1
OPS柱　前右H	1
OPS柱　後左H	1
OPS柱　後右H	1
OPS柱スペーサーAH	1
OPS柱スペーサーBH	1

●屋根

LO3-0924 部材名	数量
ELC　L-屋根板大　A2.0	1
ELC屋根板小　A2.0	3

LO3-0916 部材名	数量
ELC　L-屋根板大　A2.0	1
ELC屋根板小　A2.0	4

LO3-0996 部材名	数量
ELC　L-屋根板大　A2.0	1
ELC屋根板小　A2.0	5

●腰壁

LM3-K102 部材名	数量
OPS腰壁　L-A	2

LM3-K103 部材名	数量
OPS腰壁　L-A	3

LM3-K106 部材名	数量
OPS腰壁　L-F	1

●補強 一般地

LM3-K050 部材名	数量
ELCはり I A2.0(S)PL12	1

LM3-K060 部材名	数量
ELCはり IL A2.5(S)PL12	1

LM3-K070 部材名	数量
ELCはり IL A3.0PL12	1

●補強 積雪地

LM3-K055 部材名	数量
ELCはり　I　A2.0(S)	1
OPS上枠後補強　A2.0	1

LM3-K065 部材名	数量
OPSはり　CFIL　A2.5S	1
OPSはり　CFIL　A2.5SW	1
OPS上枠後補強　A2.5	1

LM3-K075 部材名	数量
OPSはり　CFIL　A3.0S	1
OPSはり　CFIL　A3.0SW	1
OPS上枠後補強　A3.0	1

使用ボルト一覧

1 基礎寸法について

① 〈オープン部〉を左右どちらに設置するか決めてください。
本説明書は〈オープン部〉を右側に設置し、外アンカー方式にて施工する場合で説明しています。
② 基礎ブロックを図の寸法に並べます。
〈オープン部〉が左側の場合は、ブロック配置を左右反転します。
③ アンカー工事は図を参考に行ってください。

【基礎寸法図】(外アンカー用)
〈物置部〉LMC-1815の場合

基礎ブロックと下枠の面を揃える
(内アンカー方式の場合は基礎ブロックを後側に100mmずらしてください。)

内アンカー方式の場合、15mmにする

基礎ブロックと下枠の面を揃える
(内アンカー方式の場合は基礎ブロックを前側に20mmずらしてください。)

機種	A	B	C
1515(H)	1574	758	816
1815(H)	1924.5	933	991.5
2215(H)	2275	1108.5	1166.5

2 〈全体〉上枠・はりの前加工

〈オープン部〉が左側の場合のみ〈物置部〉の上枠・前AS・上枠後の天面に9φ孔をあけます。

※機種により断面が異なります。

注意 〈オープン部〉が右側の場合、上枠の孔加工は不要です。

3 〈物置部〉下枠の組立

エルモ組立説明書(下枠の組立)の手順を参照し、〈物置部〉の下枠を組立てます。

4 〈物置部〉柱の組立

エルモ組立説明書(柱の組立)の手順を参照し、〈物置部〉の柱4本を取付けます。
ただし、アンカープレートLの取付位置は、正面と後面にします。(工程１の図を参照ください。)

5 〈物置部〉上枠の組立

① エルモ組立説明書(上枠の組立)の手順を参照し、〈物置部〉の上枠を組立てます。ただし、〈オープン部〉が付く側の**上枠右**(または**上枠左**)を**上枠中**に変更してください。

② **上枠中左・右**をボルト・ナットで合わせ、上枠中とします。
この時〈物置部〉側に**上枠中支持金具**を共締めします。
③ **上枠中**は柱に金具をひっかけて仮預けのみ行い、次工程で固定します。

6 〈オープン部〉柱の組立(1)

① **OPS柱前左**と**スペーサーB**を組合わせてボルト止めします。
OPS柱後左と**スペーサーA**も同様にボルト止めします。
〈オープン部〉が左側の場合は**スペーサーA、B**を入れ替えてください。
② **OPS柱前左**と**柱前AS・右**の孔位置を合わせてボルト・ナットで固定します。
下端のボルトは一度外して、M6×18に換えてください。
③ **OPS柱後左**と**柱・後**を同様に固定します。

7 〈オープン部〉下枠の組立

① **OPS柱前左**の下端のボルトをゆるめ、**OPS下枠接続金具前内左**をひっかけてボルトを締め直します。
柱の正面も金具とボルト止めします。
※〈オープン部〉が右側の場合、**金具前内右**は使用しません。
② **OPS柱後左**の下端のボルトゆるめ、**OPS下枠接続金具後**をひっかけてボルトを締め直します。
③ **OPS下枠後**を**OPS下枠接続金具後**に差し込み、柱と孔位置を合わせてボルト止めします。
④ **下枠すき間隠し左**を**OPS柱後左**の下端にボルト止めします。
※ 〈オープン部〉が右側の場合、**すき間隠し右**は使用しません。
⑤ **接続金具後**を**OPS下枠後**と**OPS下枠側**に差し込み、内側のみボルト止めします。
⑥ **OPS接続金具前外**を前方から**OPS下枠側**に差し込み、内側のみボルト止めします。

8 〈オープン部〉柱の組立(2)

OPS柱前右の下端を下枠の切り欠き孔に差し込み、ボルト止めします。
同時にアンカープレートLをボルト止めします。
OPS柱後右も同様に差し込み、ボルト止めします。

注意 柱が倒れないように転倒防止を行ってください。

9 〈オープン部〉上枠の組立

① ソフトテープを**OPS上枠前・後**に貼りつけます。

② **OPS上枠前**のツメを**柱前**にひっかけてボルト・ナットで固定します。
OPS上枠後、上枠右も同様に取付けます。

上枠と柱のラインをすき間なく合わせて固定して下さい。

10 〈物置部〉床板の組立

エルモ組立説明書(床板の組立)の手順を参照してください。

11 〈物置部〉下レール・床押え後の組立

エルモ組立説明書(下レール・床押え後の組立)の手順を参照してください。

12 〈物置部〉間柱後の組立

エルモ組立説明書(間柱後の組立)の手順を参照してください。

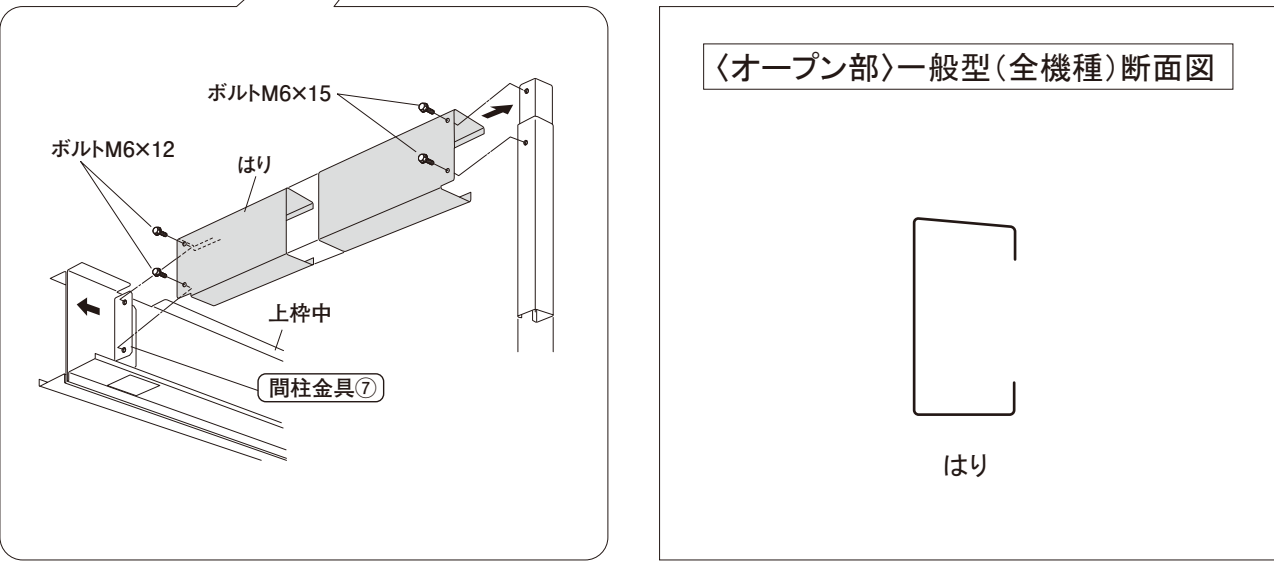
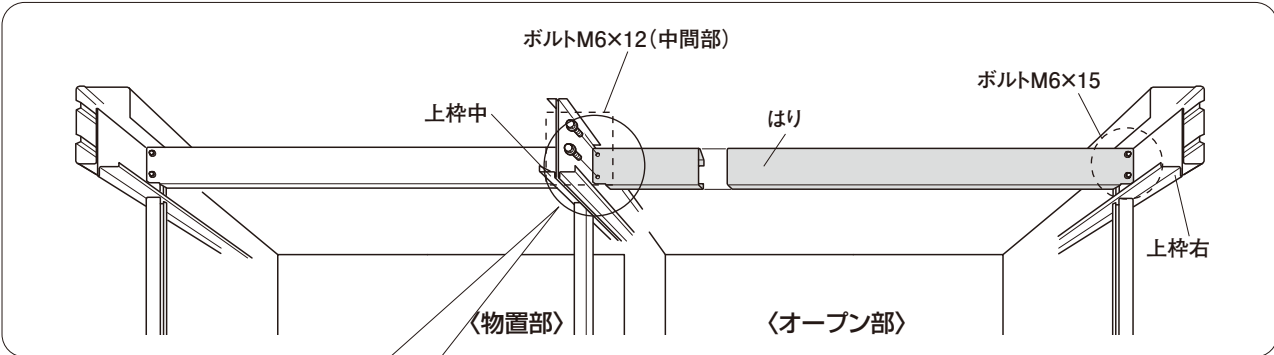
13 間仕切り間柱・間柱側の組立

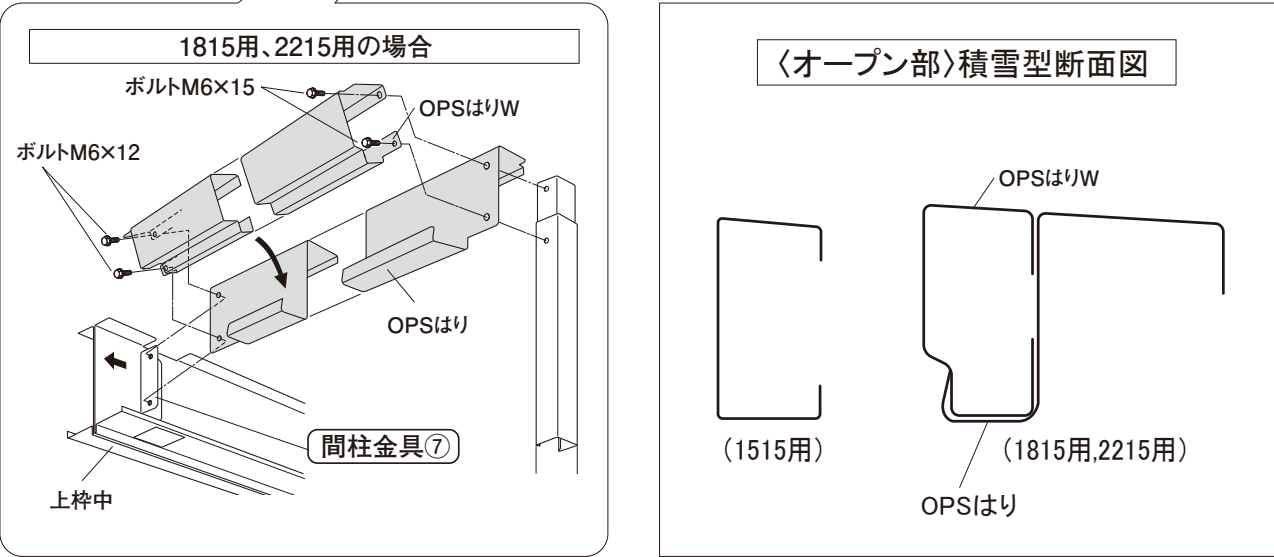
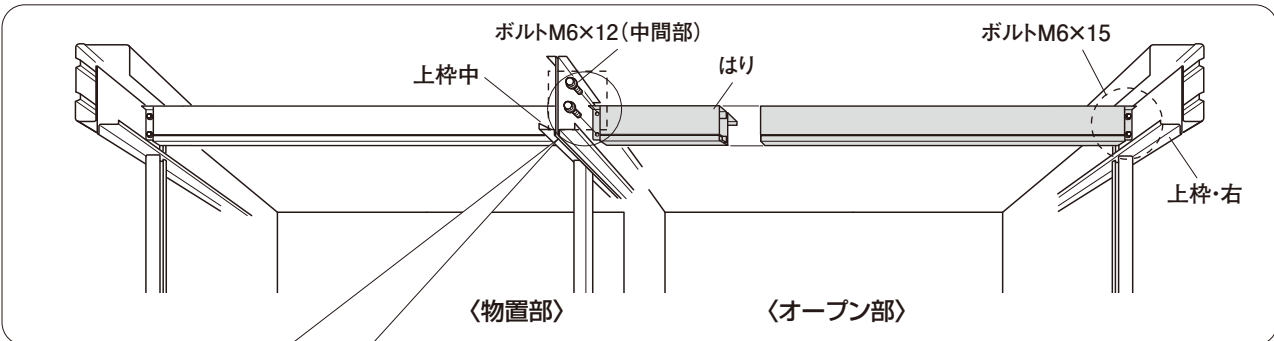
① **OPS間仕切り間柱**の上側を**上枠中左**の角孔に差し込み、次に下枠に差し込み、下端をボルト止めします。
(〈オープン部〉が左側の場合は、上枠中右に差し込みます。)
② **間柱金具⑤**を**OPS間仕切り間柱**の上端に図のようにはめ込みます。反対側からは**間柱金具⑦**を当てがい、ボルト(M6×18)、ナット(M6W13)で2点固定します。

③ **間柱・側中**の上端を**上枠・左(右)**に、差し込みます。
④ 下端を**下枠・側左(右)**に差し込みボルト止めします。
⑤ 上端に **間柱金具⑤** をはめこみ、中央の孔で内側からボルト止めします。

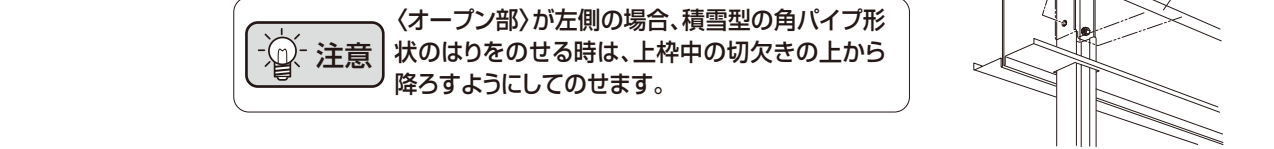
14 〈オープン部〉はり(一般型)の組立

はりを**間柱・側中**および**間柱金具**⑦の上にのせてボルトで止めます。

注意 ボルトは上枠左右の部分はM6×15、上枠中の部分はM6×12(部品箱の中にはり専用ボルトが袋詰めしてあります)を使用します。

〈オープン部〉はり(積雪型)の組立

①1815用、2215用は**OPSはり**を**間柱・側中**および**間柱金具**⑦の上にのせ、その手前に**OPSはりW**を落とし込み、2本同時にボルトで止めます。 はりの向きに注意してください。
②1515用は、一般型と同様に取付けます。

15 〈物置部〉はりの組立

エルモ組立説明書(はりの組立)の手順を参照し、はりを間柱金具に乗せて固定します。
上枠中の部分にはボルトM6×12を使用します。

注意 〈オープン部〉が左側の場合、積雪型の角パイプ形状のはりをのせる時は、上枠中の切欠きの上から降ろすようにしてのせます。

16 〈物置部〉間柱前の組立

エルモ組立説明書(間柱前の組立)の手順を参照してください。

17 〈物置部〉上枠前連結金具の組立

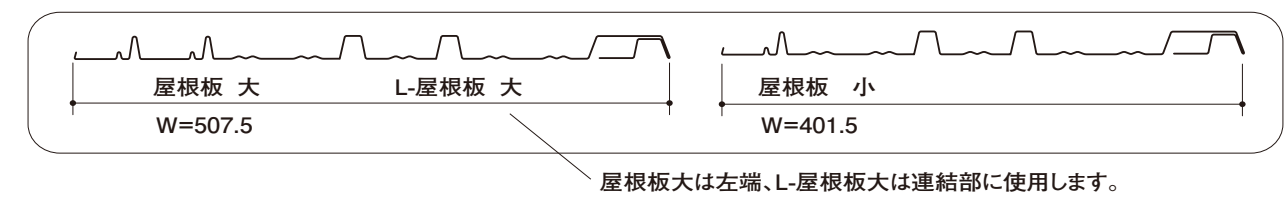
エルモ組立説明書(上枠前連結金具の組立)の手順を参照してください。 物置間口2560mm以上の場合のみの工程です。

18 〈物置部〉上枠補強の組立

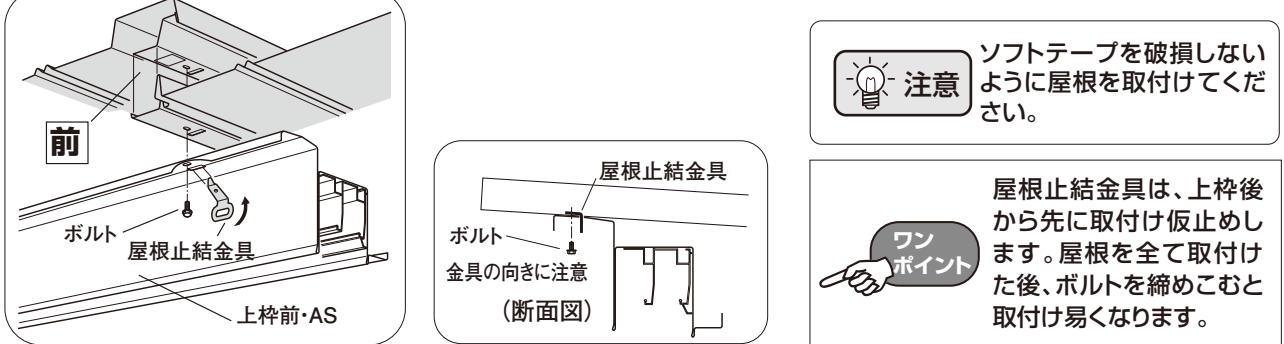
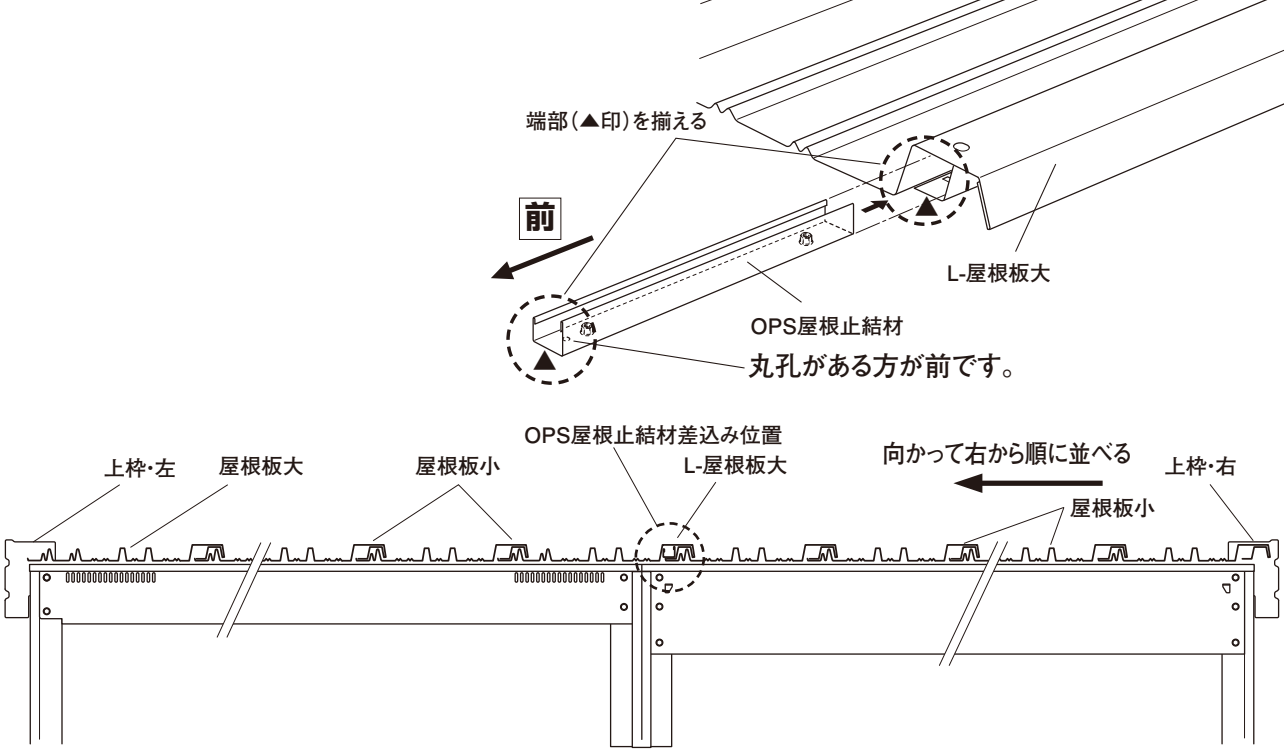
エルモ組立説明書(上枠補強)の手順を参照してください。 物置間口2560mm以上、積雪・豪雪型の場合のみの工程です。

19 〈全体〉屋根板の取付

① **屋根止結材**を**L-大**に差込みます。丸孔があいている方を前にして、**屋根板**の「前」表示を確認して差込みます。

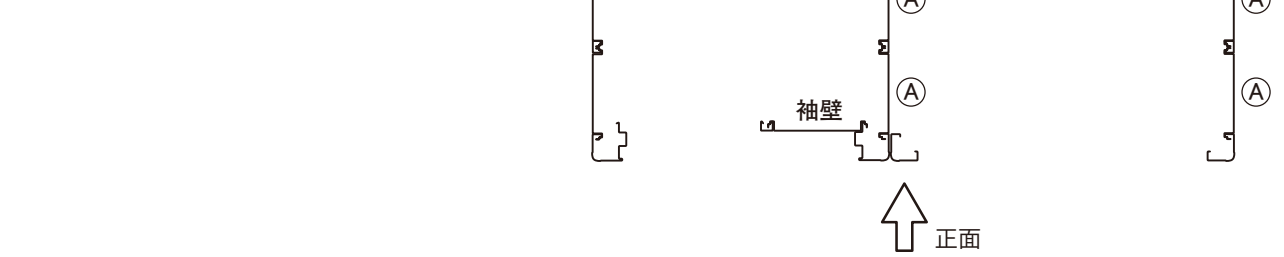
屋根板大は左端、L-屋根板大は連結部に使用します。

② **屋根板**は、正面に向かって右端から**屋根板・小**を順に取付けて行き、連結部にL-大がくるように並べます。次は**屋根板・小**を取付け、左端に**屋根板・大**を取付けます。 この時 前 のマークの入っている方を前にします。
③ 隣同志の**屋根板**の**角孔**と**上枠・後**の**角孔**に屋根止結金具を通しボルトで仮止めします。**上枠前**も同様に仮止めします。**屋根止結材**を差した所は、ボルトのみで止めます。屋根を全て取付けた後、締めこみます。

注意 ソフトテープを破損しないように屋根を取付けてください。

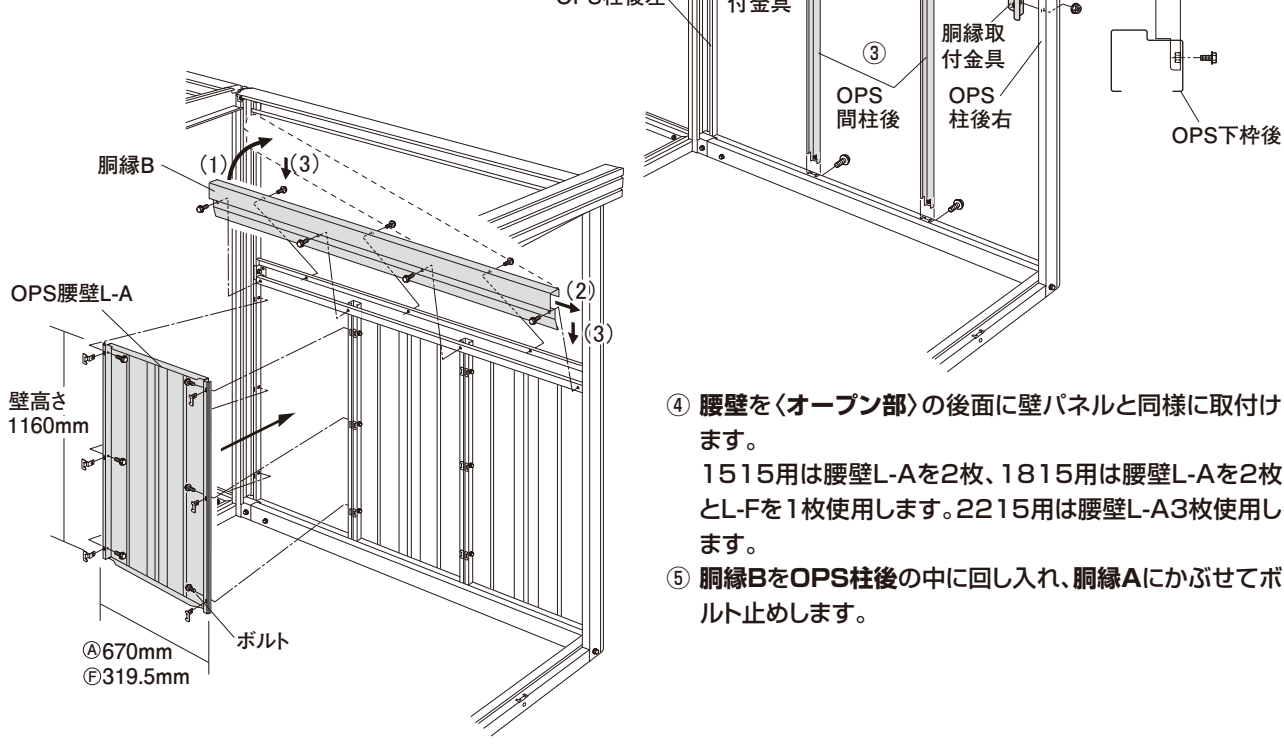
ワンポイント 屋根止結金具は、上枠後から先に取付け仮止めします。屋根を全て取付けた後、ボルトを締めこむと取付け易くなります。

20 袖壁・壁パネルの取付け

エルモ組立説明書(袖壁・壁パネルの取付け)の手順を参照し、**袖壁・壁パネル**を取付けます。なお連結部、〈オープン部〉側面は〈**物置部**〉側面を参考にしてください。

〈オープン部〉壁パネルの取付位置

袖壁
正面

21 〈オープン部〉胴縁の取付け

① **胴縁取付金具**を**OPS柱後右・左**にボルト・ナットで取付けます。
② **胴縁A**を**胴縁取付金具**の上からひっかけ、ボルトで固定します。
③ **OPS間柱後**(15間口:1本、18間口:2本、22間口:2本)の上側を**胴縁A**の角孔に差し込み、次に**下枠後**に差し込み、上下をボルト止めします。

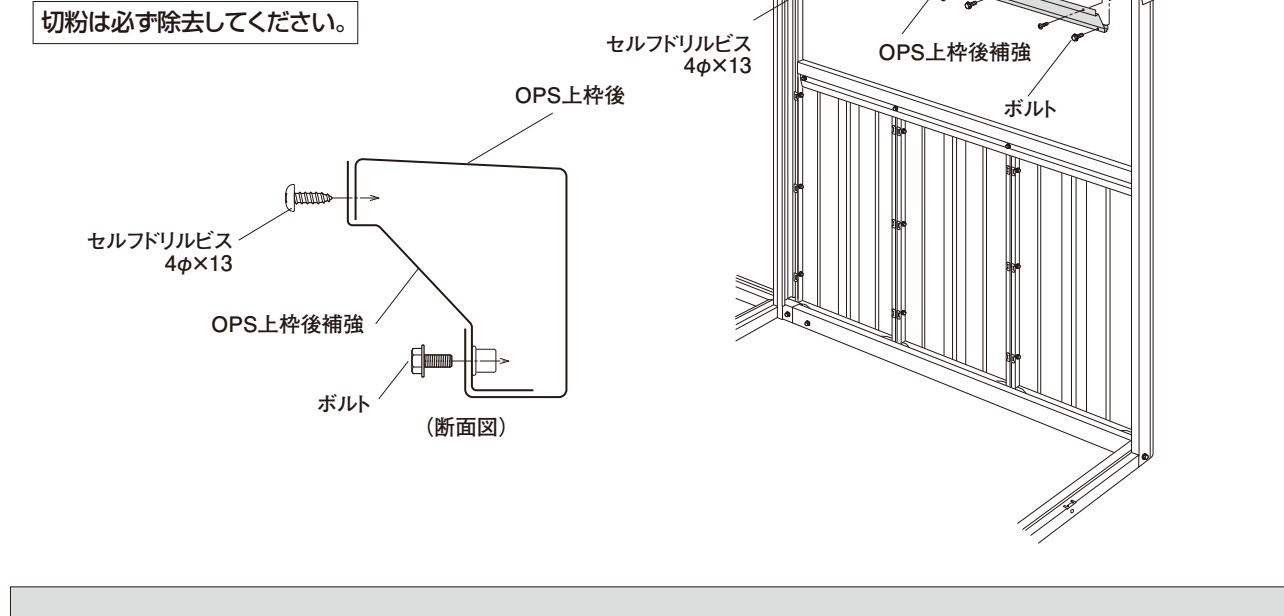
④ **腰壁**を〈**オープン部**〉の後面に壁パネルと同様に取付けます。
1515用は腰壁L-Aを2枚、1815用は腰壁L-Aを2枚とL-Fを1枚使用します。2215用は腰壁L-A3枚使用します。
⑤ **胴縁B**を**OPS柱後**の中に回し入れ、**胴縁A**にかぶせてボルト止めします。

22 〈物置部〉柱補強金具の取付け

エルモ組立説明書(柱補強金具の取付け)の手順を参照してください。

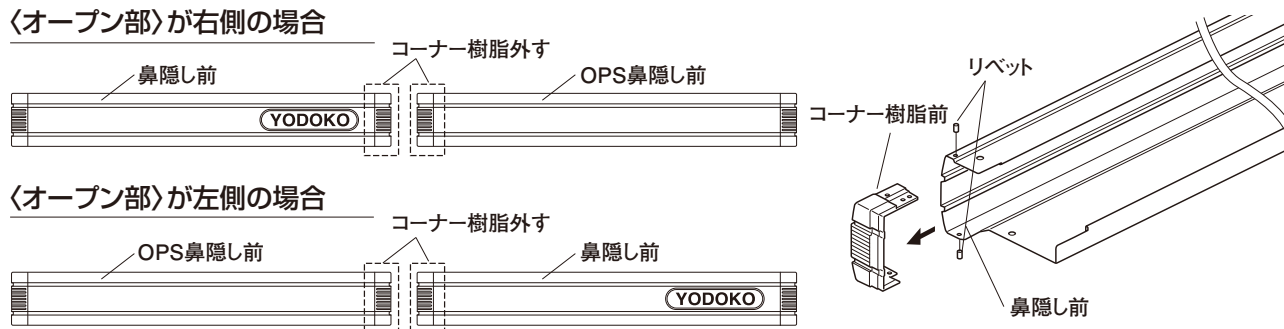
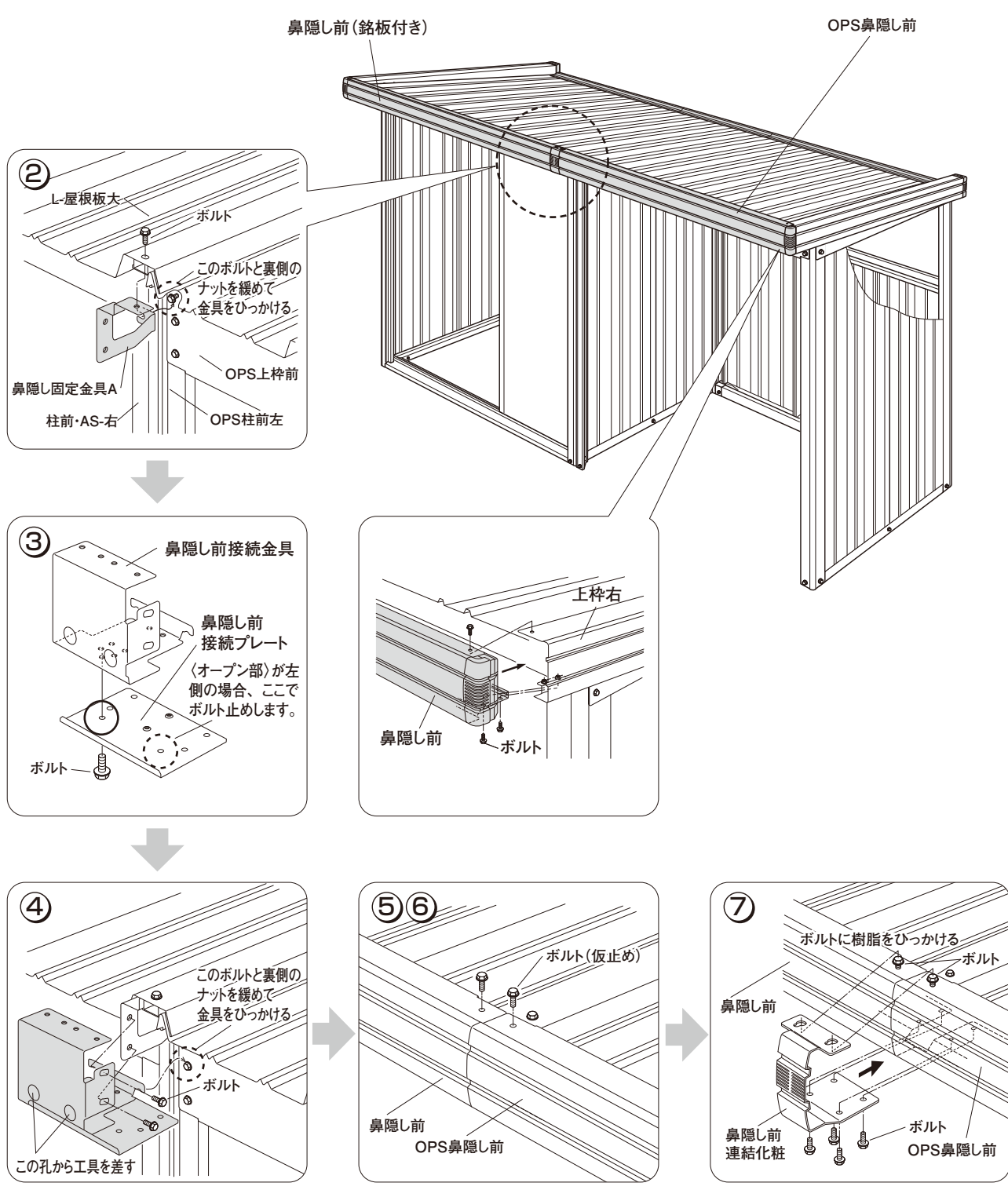
間口2213mm以下の場合のみの工程です。

23 〈オープン部〉上枠後補強の取付け(積雪型のみ)

① 上枠後補強のヘキサート付の面をOPS上枠後に入れて4ヵ所(15間口、18間口は3ヵ所)ボルト止めします。
② 上枠後補強の上フランジの面をOPS上枠後にかぶせ、目印孔4ヵ所(15間口、18間口は3ヵ所)にセルフドリルビス4φ×13で固定します。

切粉は必ず除去してください。

24 鼻隠し前の取付け

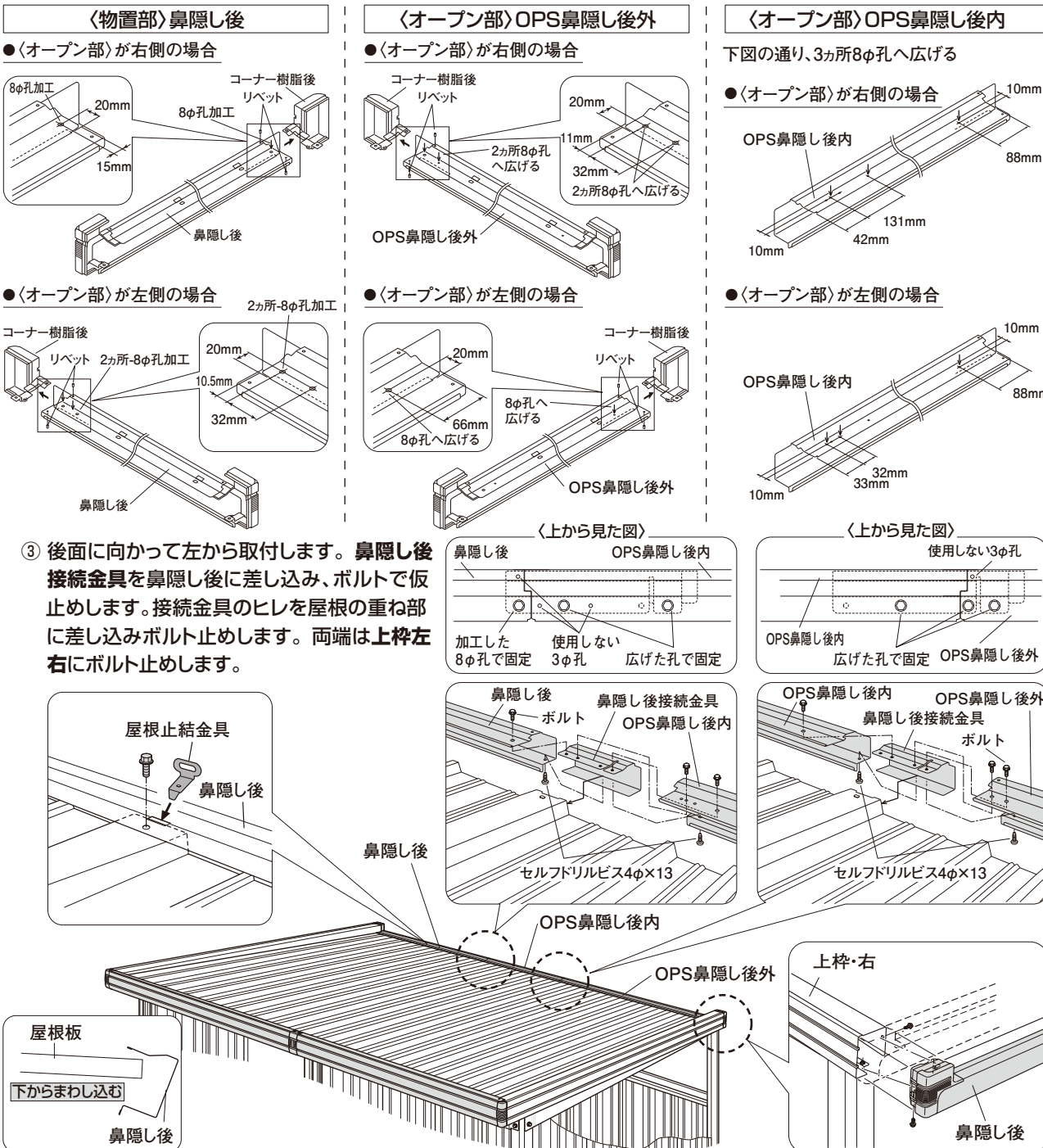
① 〈物置部〉用の銘板付の**鼻隠し前**を左に、もう1本を右に配置します。(〈オープン部〉が左側の場合は配置が逆になります。)連結部にくる方の樹脂を外します。

樹脂を止めているリベットをドリル(径3.5~4.0φ)で外してください。外したコーナー樹脂は使用しません。

② **上枠前**のボルトを緩め、**鼻隠し固定金具A**のヒレを緩めたボルトにひっかけてボルトを締め直します。
金具の上端と**屋根板L-大**もボルト止めします。
③ **鼻隠し前接続プレート**を**鼻隠し前接続金具**にボルト止めします。〈オープン部〉の方へ張り出すように付けてください。
④ **上枠前**のボルトを緩め、**鼻隠し前接続金具**の下端を緩めた**上枠前**のボルトにひっかけてボルトを締め直します。
上枠前のボルトの締め直しが困難な場合は、接続金具の前面の孔よりボックスドライバー等で締め直してください。
接続金具と**鼻隠し固定金具A**もボルト止めします。
⑤ **鼻隠し前**を取付けます。**接続金具**とは上面のみボルトを仮止めしてください。
⑥ 同様に**OPS鼻隠し前**を取付けます。
⑦ **鼻隠し前連結化粧樹脂**を連結部の仮止めしたボルトにひっかけ、上面・下面とも固定します。

25 鼻隠し後の取付け

① 〈物置部〉の**鼻隠し後**と〈オープン部〉の**OPS鼻隠し後外**には両端に樹脂が付いています。**OPS鼻隠し後内**を合わせた3本を上図の様に配置し、連結部にくる方の樹脂を外します。

樹脂を止めているリベットをドリル(径3.5~4.0φ)で外してください。外したコーナー樹脂は使用しません。

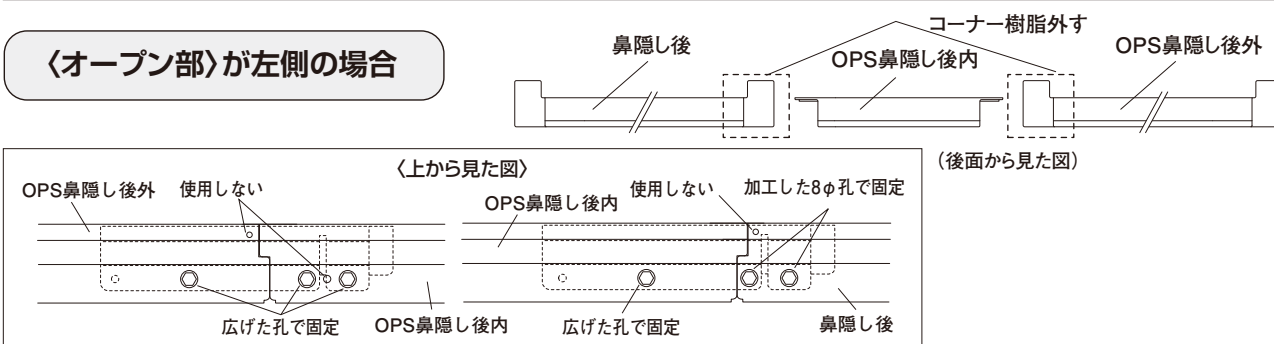
② 3本の**鼻隠し後**の上面に孔加工します。〈物置部〉の**鼻隠し後**には下図を参考に新たに8φ孔をあけ、〈オープン部〉の**鼻隠し後外・内**には下図を参考に3φの下孔を8φに広げます。〈オープン部〉の配置により使用する3φの下孔が異なりますので注意してください。

③ 後面に向かって左から取付します。**鼻隠し後接続金具**を鼻隠し後に差し込み、ボルトで仮止めします。接続金具のヒレを屋根の重ね部に差し込みボルト止めします。両端は**上枠左右**にボルト止めします。

④ **鼻隠し後**の中間部と屋根板の上面を**屋根止結金具**でボルト止めします。
鼻隠し後内には部材共通化のため使用しない孔があいています。
⑤ **鼻隠し後**の下面は目印孔の位置でセルフドリルビス4φ×13で固定します。

切粉は必ず除去してください。

〈オープン部〉が左側の場合

(上から見た図)

(後面から見た図)

26 〈物置部〉棚板の取付け(オプション)

エルモ組立説明書(棚板の取付け)の手順を参照してください。
※オープンスペース部は専用棚(オプション)を取り付けてください。

27 〈物置部〉扉の取付け

エルモ組立説明書(扉の取付け)の手順を参照してください。

28 〈物置部〉その他

① エルモ組立説明書(その他の部品取付け)の手順を参照してください。
② コンビ機種名ラベルをエルモ機種名ラベルの右に貼ります。
③ 孔フサギシールを上枠中の四角の孔に貼付けます。シールは4枚1綴りになっており、シールの細い方に折りぐせをつけてからはがして使用します。
④ 最後にボルトのゆるみが無いか確認して完了です。

孔フサギシール
予備が3枚あります。

ワンポイント タテ面に貼ってから、全体を貼付けます。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

エルモコンビ
1515(H)・1815(H)
2215(H)
ヨドコウ
淀川製鋼
(2012年B制作)